

30101水力発電所等建設工事業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	10	7~8	現場事務所の駐車場で夜間作業で使用する投光機のバルーンを荷降しする際バルーンのタイヤをロックせずに作業していたところ、タイヤが動き出し急いで手で押さえたが間に合わず倒れるのを避けた際転倒し負傷した。	65	2	611	10 ~ 29
2	2017	9	10~ 11	選択取水設備（水門設備）塗装塗替作業中に、作業足場において、作業足場と水門扉との間の開口部があり、約7.2mから墜落災害が発生した。	38	1	411	10 ~ 29
3	2017	8	14~ 15	被災者は、コンクリート骨材の受入設備において、ダンプ誘導・輸送コンベアの運転管理に従事していた。骨材投入口のベルトコンベアで電流値の振れ幅が大きい箇所があったので点検に行き、コンベア稼働中に防護カバーを開けたとき、ラチェットレンチを手から滑らせて回転部付近に落とした。ラチェットレンチを拾おうとして手を突っ込んだため、左手薬指がローラーに挟まれた。	38	7	224	1~ 9
4	2017	7	16~17	堤体右岸斜面を、親綱口リップを使用して降りたのち平場で口リップを外して移動した際に、測線明示用のコンクリート釘が靴底に引っかかって転倒して、右足を受傷した。	56	2	417	1~ 9
5	2016	9	16~ 17	建設工事へ応援に行っており、現場で、鉄パイプの搬入を行っている際、下に敷いてある角材と鉄パイプに右手の中指を挟み負傷した。	51	7	521	30 ~ 49

6	2016	7	15～ 16	機器搬入路下部でケレン清掃作業を行っていたところ、搬入路上部側で行っていた運搬作業中の電動ウインチ台車から酸素ボンベが落下した。被災者の退避中にボンベが左足に当たり負傷した。	28	4	379	1～ 9
7	2016	4	10～ 11	社有車で走行中、中央分離帯に衝突し、社有車の右側フロント部を破損し、その際ハンドルで胸部を強打した。	55	17	231	10 ～ 29
8	2016	3	13～ 14	Wキャブ上のドラム缶をブラスト設備の横へ荷降ろすため、4tユニックで吊り降ろす作業をしていた。被災者は1人でWキャブ上で玉掛けして、そのままリモコンにて操作していた。約1m吊り上げたところ、スリングからドラム缶が抜け落ち、ベッセル上に落下した反動で転倒し側面あおり部に倒れ腰を強打した。	56	2	611	30 ～ 49
9	2015	11	13～ 14	コンクリート打設作業の為、索道を用いてコンクリートホッパーで生コンクリートを運搬し、打設完了後、巻き上げの最中に索道の巻き上げ索のワイヤーが切断し、空のホッパーが落下。下部のコンクリート面で跳ね返ったものが、被災者の背面部に接触し被災した。	57	4	211	1～ 9
10	2015	9	0～1	アタッチメントに回転式切削ドラムがついたスキッドステアローダーを用いて隧道内のインバートコンクリートを切削していたところ腰部の痛みが再発した。	25	19	921	1～ 9
11	2015	7	14～ 15	トラックの荷台に積み込んだ荷（バッチャープラント部材）を荷締めしていた時に荷が倒れてきて、頭に当り荷台から転落して被災した。	58	6	221	10 ～ 29
12	2015	5	8～9	林道工事の現場内で、バックホー用アタッチメント（油圧式フォーク）をトラックの荷台に積込作業中、アタッチメントのストッパー部と両手で触れていた箇所との間に両手の指先を挟まれ負傷した。	54	7	212	30 ～ 49
13	2015	1	13～	道路改良工事の現場で既設の石垣の撤去作業中に被災者は石垣をバールを使い動かそうとしていた時、その石垣が被災者本人の右	53	5	711	1～

			14	足の先の方に動き石の下敷になった。				9
14	2014	5	16～ 17	敷鉄板の片付け作業中、バックホウにて敷鉄板をチェーンに吊ったところ、左手をチェーン部分に挟み、負傷した。	64	7	142	10 ～ 29
15	2014	3	13～ 14	ダムの放水塔において、塗装作業をしているときに水門の扉体と戸当たりの間に頭部を挟まれ受傷した。	46	7	391	1～ 9
16	2014	1	10～ 11	注水工内の防水作業中、プライマーモルタル練りに使用した機材（ハンドミキサー）を洗うため、作業エリア屋から離れ、バケツを持って注水管（Φ2000、水深10.8m）へ水をくみに行き、水中に転落した。被災者死亡。	44	10	418	10 ～ 29
17	2013	12	11～ 12	足をつまずかせ、ステージとモノレールの上に落ち、太ももをモノレールの荷台で打った。	34	3	417	1～ 9
18	2013	11	15～ 16	掘削幅0.8m掘削高1.0mにて下水道管を布設中、掘削内部に降りたところ、バランスを崩して掘削床に手をついた為、掘削上部層より石(直径25cm-30cm)が落下し、手首に当たった。	31	4	711	1～ 9
19	2013	11	23～ 24	トンネル内にて、FRPM管(直径1200mm)設置作業中、レバースロックを掛けていたシャックルの差込ボルトが破断し、フックが外れ、レバースロックが手小指と肘に当たった。	45	6	372	10 ～ 29
20	2013	11	16～ 17	撤去材をケーブルクレーンで荷取場所へ移動し、ケーブルクレーンと産廃車のつかみ機を併用し撤去部材のスキンプレート面を下向きにして倒した際、スキンプレート面が地面に着地し、吊りワイヤをゆるめていたところ、撤去部材の上部(主ローラー部)が重心位置となっていた為、撤去部材が倒れ、荷取場所の手摺りと撤去部材の間に手を挟まれた。	53	5	521	10 ～ 29
21	2013	11	10～ 11	掘削直後のモルタル吹付面背面約50mの土砂が抜け落ち、法面下部にいた被災者が土砂に巻き込まれた。	37	5	711	50 ～ 99

30	2011	8	2~3	被災者は、同僚とともに、ズリ出し作業を開始した。積込完了後のズリキブルを巻き上げる際、ズリキブルが傾いていたため、ズリキブルのフックが側壁と接触し、ワイヤーにややテンションが掛かり、フックの引っかかりがとれたはずみで、ワイヤーが中心方向に戻り、スカフィード開口部付近で合図を行っていた被災者にワイヤーが当り受傷した。	47	6	214	30 ~ 49
31	2011	3	17~ 18	Aダム作業所で作業を終え、自社に帰社中B市の点滅信号のある交差点に於いて相手方2tダンプ（砂利満載）車と出会い頭に衝突した。自社1.5tトラック前部が座席にくい込み運転手、助手席とも挟まれ、レスキュー隊を呼び、カッター切断後、治療（応急）しながら病院へ搬送された。	38	17	221	10 ~ 29
32	2010	10	8~9	平成22年10月4日午前8時30分頃、A市Bの資材置場の片付けをするため、角材を電動丸のこで切断していた時切り終って、うっかり右足の上に置き負傷した。	55	8	131	10 ~ 29
33	2010	7	16~ 17	当事業所、資材置場に於いて、山砂等の整理を重機運転手に指示して作業をしていた際、自分の不注意で重機に背を向けていたため、バックして来た重機に気づかず、重機のキャタピラが足に当たり、ズボン巻き込まれ転倒、右足をキャタピラに踏まれて負傷した。	29	7	142	10 ~ 29
34	2010	4	7~8	A自動車道下り線AパーキングからA方面1kmで追い越し車線を走行中、前方の大型トラックが遅かった為追い抜きをしようと走行車線に入ったらライン引き作業の規制車が低速で走行していたのに気付くのが遅れ急ブレーキをかけたが追突してしまった。	34	17	231	10 ~ 29
35	2010	4	7~8	A自動車道下り線AパーキングからA方面1kmで追い越し車線を走行中、前方の大型トラックが遅かった為追い抜きをしようと走行車線に入ったらライン引き作業の規制車が低速で走行していたのに気付くのが遅れ急ブレーキをかけたが追突してしまった。	31	17	231	10 ~ 29
				A自動車道下り線AパーキングからA方面1kmで追い越し車線				

36	2010	4	7~8	を走行中、前方の大型トラックが遅かった為追い抜きをしようと走行車線に入ったらライン引き作業の規制車が低速で走行していたのに気付くのが遅れ急ブレーキをかけたが追突してしまった	28	17	231	10 ~ 29
37	2010	4	7~8	A自動車道下り線AパーキングからA方面1 kmで追い越し車線を走行中、前方の大型トラックが遅かった為追い抜きをしようと走行車線に入ったらライン引き作業の規制車が低速で走行していたのに気付くのが遅れ急ブレーキをかけたが追突してしまった。	40	17	231	10 ~ 29
38	2009	12	7~8	路面凍結により車がスリップし、道路右側の民家ガレージのブロック塀の角に、車両の右側前面が衝突した。この際、運転手と後部座席右側に乗っていた人が右足を骨折し、助手席に乗っていた人は軽傷で済んだ。	22	17	231	10 ~ 29
39	2009	12	17~ 18	バックホーを借用に行った先の駐車場で、被災者はトレーラー荷台に昇ろうとした時、バランスを崩し、荷台の角で脇腹を強打、内臓を損傷した。	37	3	221	10 ~ 29
40	2009	6	14~ 15	港湾資材ヤードで、ブロック型砕資材を一輪車で搬送中、濡れた敷鉄板上で尻もちをついて仰向けに倒れ、首を損傷した。	60	2	419	10 ~ 29
41	2009	2	14~ 15	地盤を掘削（深さ1.27m、巾0.7m）して塩ビ管を敷設するパイプライン工事をしていた。作業員が身体を曲げて塩ビ管をセットしていた時、掘削側面が崩れ、腰から下が埋まり胸部等の骨折で負傷した。	73	5	711	1~ 9
42	2008	11	10~ 11	台船の補修作業の際、被災者は引揚げた台船の「かいしゃく」をする為、昇降階段にてレッカー車がある場所へ向かっていた。玉掛作業を終えた作業員が昇降階段へ行ったところ、被災者が倒れているのを発見した。	62	3	419	1~ 9
43	2008	11	11~ 12	患者の体を拭き終え、患者の体を引っ張った際、腰と左脚に痛みとしびれが起こった。	36	19	921	500 ~

									999
44	2008	11	7~8	工事現場の駐車場で、通勤車より降りようとしたところ、滑って転倒した。	61	2	417		10 ~ 29
45	2008	9	21~ 22	湧水状況を確認しようと切羽に立入った際、上部右側より岩片が剥離落下し、頭部に当たり、受傷した。	35	4	711		10 ~ 29
46	2008	8	13~ 14	荷受場へ誘導する合図をしようと、鉄筋上に敷いたメッシュロードから渡り通路へ移動した際、鉄筋の隙間に足を落としてバランスを崩し、鉄筋上に左手をつき、負傷した。	58	1	417		1~ 9
47	2008	7	9~ 10	水道管（パイプ）の吊り荷作業中、バランスを崩し、パイプとパイプの間に右手を挟んだ。	67	7	212		1~ 9
48	2008	5	10~ 11	堤体上流部にて土砂積込・運搬作業を行っていた。土砂積込作業終了時、逸走した4tダンプトラックを止めようとして上半身大の石とダンプトラック左前部に挟まれた。	48	7	221		10 ~ 29
49	2008	2	3~4	栈橋上に駐車した15tトラックから積荷の覆工板（1m×6m、12枚）を荷卸しする為、被災者が荷台で荷解き作業中、バランスを崩しトラックの荷台から約1.5m下の栈橋上に転落し負傷した。	55	1	221		300 ~ 499
50	2007	12	15~ 16	2人で鉄筋組立作業中、相手が長尺（D-19・L=6.5m）をハネ上げて鉄筋を揃えようとした時、被災者が腰を曲げて顔を近づけていたため鉄筋の端部が顔に当たり負傷した。	69	6	521		30 ~ 49
51	2007	12	14~ 15	ダム本体建設工事において、型枠の解体作業をしていて、傾斜部の支保工を2名で解体しているときに、同僚が傾斜したH鋼を鉛直にしようと手前に引いた際に、支保工と幅止めで設置していたアングルの間に手の指を挟まれ負傷した。	62	7	412		1~ 9
				工場駐車場、他工事作業所で、延長4mのボックスカルバート据付作業において、均しコン打設後、ボックスとのクリアランスが					

52	2007	9	8~9	取れないため、土留材（腹起し+切梁2本）を上部に盛り替えする際、落下防止の吊りチェーンを上部に転用したため、下流側下段切梁の圧力を緩めた際、上流側下段切梁（長さ3m、重さ30kg）が落下し、その下で落し物（腕時計）を探していた被災者の右手に当り、負傷した。	55	4	412	30 ~ 49
53	2007	8	10~ 11	自社資材置場にて、斜面で作業中、道具を取りに下に降りる際、誤って足を滑らせ転倒。体をかばおうとして、手をついた時、突き込んで、負傷した。	48	1	711	1~ 9
54	2007	6	9~ 10	足場組立に使用する足場材を運搬中、被災者は、発進地点から終点までの間の数箇所に足場材を分けて降ろすため、モノレールを途中停止させる事が出来るように、足場材と一緒に移動していた。被災者が被災地点でモノレールを停止しようと接近した際、斜面上でバランスを崩し、とっさにモノレールの軌道上に手を置いてしまい、移動中のモノレールに指を轢かれ負傷した。	20	7	223	10 ~ 29
55	2007	4	10~ 11	倉庫での作業中、事務所で電話がなったので、事務所に戻る際、駐車場の所であつまずき、バランスをくずし、足を負傷した。	53	2	417	10 ~ 29
56	2007	3	16~ 17	倉庫で、レンタル会社から借りている4トントラックを返すため荷台に乗って洗車中に、足を滑らせてバランスを失い、荷台より転落し、腰から地面に落下して背部を負傷した。	44	1	239	30 ~ 49
57	2007	3	17~ 18	槽天井部配管の布設位置確認を終了し、仮設枠組足場を下りる時、1.3mの高さから墜落し、槽内床面に腰、頭部を強打し負傷した。	35	1	411	10 ~ 29
58	2006	9	14~ 15	寝たきりの患者のおむつ交換を終えて、後かたづけをしようとした時、患者が急に動き出したため、慌ててかけ寄ろうとしたところ、バランスを崩し転倒、左手甲を床につき負傷した。	63	2	417	100 ~ 299
				洪水吐減勢工右岸側の枠組足場解体のため同僚5名と当該足場を上がって行ったところ、7段目付近まで来たところで突然スズメ				10

59	2006	8	8~9	蜂数十匹が襲ってきた。全員で足場より避難したが、先頭にいた被災者が数ヶ所刺された。	50	90	719	~ 29
60	2006	5	11~ 12	洪水吐コンクリート工事において、被災者は鉄筋のさび落とし作業をワイヤーブラシ（ベビーサンダー使用）を使用して行っていた。保護メガネマスクを使用していた作業中、眼部に負傷した。	51	4	169	10 ~ 29
61	2006	5	8~9	社有車にて自宅から現場事務所へ向かう途中、国道のトンネルの中で、よそ見運転をしていた対向車がセンターラインを越えてトンネルの壁に当たり跳ね返り、さらに、被災者の助手席側にぶつかり負傷した。	25	17	231	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。